

The Newsletter of International College of Dentists JAPAN Section



2026年3月31日

vol.16 Issue 1

ご挨拶



いつも国際歯科学士会日本部会の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本会は、70年以上にわたり先人の理念を受け継ぎ、ICDのモットー「奉仕と奉仕の機会を認識する」を大切に実践してきました。

昨年度は「ダイバーシティとフェロウシップ」をテーマに、多様性を尊重しながら、品位と品格を重んじ、協力の基盤を見直すことに取り組みました。定款に基づく集会出席や推薦者の責任についても周知しましたが、コロナ禍を経て価値観が変化し、新しい課題も見えてきています。

そこで本年度は、「エンパシー（共感）」をキーワードに、フェロウシップをさらに深めることを目指しています。異なる考えを理解し、共感しながら会務に参加することが、絆を強める大切な一歩です。推薦者や委員会の仲間の支えも欠かせません。

そして、ぜひ本会の三大事業にもご参加ください。時代の変化にしなやかに対応し、崇高な理念を共感と協力で実現していくために、引き続き皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

In Fellowship!

(一社)ICD日本部会 会長 富士谷 盛興

歴代会長のことば



人前で挨拶することが最も苦手な私が、隅田百登子前会長からバトンを引き継いだのは、コロナが落ち着き以前の日常が戻りつつあった頃でした。この間、色々な制約を受ける中、粛々とそれでいて確実に事業を遂行して下さった理事をはじめ各委員会の委員長と委員の皆さんには心からの感謝と敬意を表します。改めて統率力と解決能力の高さを感じました。

ICD日本部会の活動は、国内はもとより海外との交流も活発化しているように拝見しており、新しい時代を迎えたような予感が致します。近年の世情は“人間万事塞翁が馬”的感もありますが、駿馬のごとく活躍されている各委員会担当フェローの皆さんを拝見していると、明るく社交的で、変化を恐れず新しい挑戦に踏み出すパワーを秘めた、正に午年を象徴しているように思います。

ICD日本部会に所属するフェローの皆様には、忙しい日々の仕事から一寸手を休めて、新しい仲間との交流に参加してみませんか。意外な発見が生まれるかもしれません。

そんな魅力あるICD日本部会の益々の飛躍を期待しております。

第32代会長 鏡 宣昭

2026年度 三大事業 開催予定

第69回総会・認証式

2026年6月6日(土)
ホテルメトロポリタン
エドモント

年末集会

2026年12月19日(土)
帝国ホテル(東京)

皆様のご参加をお待ちしております

2025年度 総会・認証式 報告

2025年度総会・認証式は6月7日(土)にホテルメトロポリタンエドモントで行われました。富士谷会長のご挨拶に始まり、本年は、国際会長のDr. Ian Doyle及び韓国部会、台湾部会、フィリピン部会からも多くの先生方が出席くださいました。総会は飯島議長の進行のもと、1号議案から3号議案まで無事可決承認されました。その後のICD特別賞表彰式では、協賛企業(ジーシー、デンツプライシロナ、モリタ)から3名の受賞者(鈴木設矢フェロー、松尾通フェロー、故・森本基フェロー)に賞状が授与されました。

認証式第一部は新フェロー11名をお迎えし（1名ご欠席）、Key、認証状、綱領、バッジが授与され、会長からの訓示ののち、新フェローを代表して石川佳和

フェローより宣誓がおこなわれ、正式にICDの会員となりました。

認証式第二部の特別講演では、上田実先生（名古屋大学名誉教授）により「脳の再生医療に対する乳歯幹細胞の効果」と題してご講演いただきました。ALS、AOS、ADに対する症例報告がなされ、将来に希望が感じられる内容に、参加者らは一心に聞き入っていました。その後の懇親会も、新フェローの英語のスピーチによる自己紹介に始まり賑やかに和気藹々と進んでいき、134名の皆様と楽しい時間を過ごしました。

事業運営（総会・認証式担当）委員会
委員長 中久木 典子



Ian Doyle国際会長からの新フェロー訓示



上田実先生による特別講演



新フェロー集合写真

●改革推進委員会

改革推進委員会は定款並びに規約、さらには諸問題に関して、執行部から諮問された事項を協議・検討し、答申しています。今期は内田耕司常任理事、安達一典理事、和久本雅彦副委員長、麻生幸男委員、照山裕子委員、阿部健一郎委員、北田真紀委員、原元信貴委員、竹島明道委員、小林健一郎委員、岩崎克彦委員、添島正和委員、林智子委員、石川佳和委員、そして私の14名構成です。

現在は、ICD日本部会の社会的知名度の向上と社会

奉仕活動活性化のため、ICDアワード（学生対象）及びICD特別賞を実施するための協議を重ねております。ICDアワードの表彰は、学生の所属大学にて学位授与式に併せて催されました。また、第6回ICD特別賞表彰式は、本年6月の総会・認証式に併せて行われる予定です。

改革推進委員会 委員長 中村 朋美

● 広報・編集委員会

広報・編集委員会は、今村嘉宣常任理事、飯島裕之理事のもと、国際菌科学士会日本部会雑誌の発刊ならびにHPおよびFacebookの管理・運営を行っております。

本年度の主な活動として、9月に「国際歯科学士会日本部会雑誌 第56巻1号」を発刊いたしました。本号では、富士谷盛興会長の巻頭言に加え、「インプラント治療の適応に関するトレンドー基礎教育から臨床での捉え方までー」をテーマとした特別企画を掲載し、さらにフェローの先生方からも多数の寄稿を賜り、充実した内容となりました。ご多忙の中ご執筆いただいた

先生方ならびに編集作業にご協力いただいた関係者の
皆様に、厚く御礼申し上げます。

次号(第57巻1号)に向けても、特別企画を含め、より一層の内容充実を図る予定です。フェローの皆様には、学術的な報告に限らず、エッセイや随想、活動報告、趣味紹介等、幅広いご投稿をお寄せいただけますと幸いです。今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

広報・編集委員会 委員長 堀江 卓

●国際交流委員会

国際交流委員会事業の主な柱は、①日本部会認証式へ姉妹提携を結んでいる韓国部会と台湾部会からの来賓客に対するおもてなし、②韓国部会認証式への参加と交流、③台湾部会認証式への参加と交流、④冬期学会での留学生による発表会、⑤その他の地域部会（フィリピン部会等）との交流となっています。

2025年6月7日に開催された日本部会認証式には、国際会長であるIan Doyle会長がカナダから来日されました。また、韓国部会からKwon Kung Rock新会長、Lee Jeong Woo新事務局長、Chang Wongun新国際理

事ら計7名が、台湾部会からYing Kwei Tseng前会長、Kenny Lee 国際理事が参加されました。さらに、フィリピン部会からOlegario G Clemente Jr会長、Iluminada L Viloria前会長が初めて参加されました。

2025年1月26日には、フィリピン部会の認証式に小野、秋山、足立フェローが参加されました。4月18日には、ICDセクションXV 10周年記念カンファレンス・認証式に小野、森永、秋山フェローが参加されました。5月18日には韓国部会の認証式に、富士谷、鈴木、前島、小野、高山、小峰フェローが参加されました。9



フィリピン部会
認証式



セクションXV 10周年記念
カンファレンス・認証式



韓国部会認証式



台灣部会認証式

もう一つの活動の柱である冬期学会での留学生交流事業では、神奈川歯科大学の徐寧さん（中国新疆ウイ

来年度も引き続き活発な国際交流を行って参りたい
と思います。フェローの皆様方にも都度情報提供させ
ていただきますのでご参加よろしくお願い致します。

2025年度ニューフェロー紹介（12名） ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

— 6 —

若輩者ではございますが、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

インプラントという比較的新しい分野を専門にしておりますが、少しでもお役に立てるよう尽力して参りますので皆様方のご指導よろしくお願い致します。

